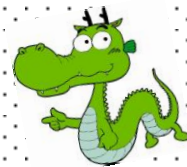


ひと ひと  
女と男グッドパートナー



# いきいき通信

VOL. 7

湖南省男女共同参画リポーター・湖南省人権政策課

## 男女共同参画リポーターの「女と男グッドパートナーいきいき講座」と 「G-NETしがフェスタ2011」に参加しての感想を紹介いたします!

### \* ひと ひと 女と男グッドパートナーいきいき講座(1回目) \*

ひと ひと まち  
「女と男との支えあいで すてきな地域を」

講師 谷口 浩志さん (びわこ学院大学 短期大学部 教授)

日時 平成23年9月11日(日) 午前10時～ 場所 サンライフ甲西



▲ 講師の谷口浩志さん

私達は日頃、「男らしさ」とか「女らしさ」という言葉を耳にする機会があります。この場合、以前からの何か決まった在り方を考えがちです。今回の講座はこのような身近にある事柄から始められました。このような言葉は良いか悪いか、何が正解かではなく、様々な生き方がある現実を知り、相手の存在を認め、その上で自分らしい生き方をする事であると語られました。

事例をあげると、日常生活では家のつくりは生活をしている者に「そぐわない」ことがあり、服装ではリクルートスーツなどの「しぼり」があること、さらに迷信、儀礼などについても自分を表現することなく、周囲の目を気にするなど多くの点で認められることを挙げられました。

男女のあり方についても同じことが言え、改善するには根強い抵抗があります。そのために、個人の行動だけでは困難なことが多いが、地域で市民一人ひとりが手を組んで生活改善を目指せば比較的楽に達成できるのではないのでしょうか。このように地域で市民が主体になって、まず、ビジョン(将来像)づくりから始め、今も残る固定観念を見直し、男女が互いに個性と能力を発揮し、自分らしい生き方ができる「活気ある地域(まち)づくり」を目指すことが重要なことだと思います。

今回の講座で、男女共同参画による地域(まち)づくり活動の取り組みについて、県民意識調査や市民意識調査の結果を踏まえて、実践への理解を深めることができました。



▲ 講座の後、講師を囲んでの座談会

「輝け私の時間！！ 時間の上手な使い方」

講師 田中 晶子さん (シニア産業カウンセラー)

日時 平成 23 年 11 月 27 日 (日) 午前 10 時～ 場所 石部文化総合センター 会議室

誰もが仕事、家庭生活、地域生活を自分が希望するバランスで過ごすためにはどうすればよいかについて講義を受けました。そのためにはまず自分自身がいつもどのように時間を使っているのかを知る必要があります、24 時間時計を用いてシミュレーションをして把握しました。参加者は、家事を主にされている方、地域でボランティアをされている方、介護をされている方、趣味を楽しまれている方など、おかれている状況が様々なので各自がこの 24 時間時計で普段の時間の使い方について振り返ったのは、大変よかったと思います。



▲ 講師の田中晶子さん

また、参加者で 4 つのグループ (趣味、介護、子育て、地域) に分かれて、共通の課題のもと時間の使い方について話し合いましたが、笑いもあり、それでいて有意義で、あっという間に時間が過ぎました。そして、その場で出た意見をグループごとに発表し、参加者みんなで共有しました。

今回、自分の家庭を思い浮かべながら学ぶことが出来ましたし、普段の時間の使い方を見つめる良い機会となりました。



▲ 趣味グループ



▲ 介護グループ



▲ 子育てグループ



▲ 地域グループ

参加者のみなさんからの感想を一部紹介します。

- ☆効率的な時間の使い方を強く意識させられました。
- ☆うれしい気持ちになる時間をたくさん作ることで生活が変わることに改めて気付きました。
- ☆少し心が軽くなった気がします。グループの中で色々な方の思いを聞いて参考になりました。

＊ 講演「自分らしい生き方・働き方を実現したい」に参加して ＊

「仕事、地域、家庭など様々な分野でチャレンジしたい、社会参画したい、という思いを実現できるようにするために、何が求められるのか」のテーマで事例発表があり、話し合いという形式で進められました。「女性がいきいきと仕事を続けられる職場づくり」についての中では、会社のトップが男女共同参画に関わっておられたこともあり「女性力活性化委員会を社内で立ち上げてみては」との声にすぐに実行されたとの事でした。会社の理念が「人を大切にすること」なので周囲の理解も得やすかったようです。その他にも育児・介護に関心をもっていたためにハンドブックの作成、介護休業は無給から有給へ、育児休業は3歳までを小学校就学まで取得できると改められました。社内には「現状のままでよい」、「積極的に改善したほうがよい」と考えが二極化

したそうです。まずは、女性自身の意識や認識の向上を高める必要があると感じました。また、育児休業後の自分の立場を考えると、すごく悩まれたようです。悩みを解決するにはコミュニケーションをもって、風通しをよくすることが大切です。

事例発表後の話し合いの中でキーワードとして『頑張りすぎない!』『夢をすてない!』『諦めない!』『一歩前に出て行動してみる!』が挙がっていました。最後に、自分の人生は自分で切り開いていくものであるという結論に達しました。



◀ 講師の鳥谷幸さん(左)と前田由香さん(右)

＊ 公開講演会「私は仕事も家族も決してあきらめない」に参加して ＊

高校生から高齢者の姿まで幅広い層の参加者で席がうまりました。講師は、自分が話すことで聞いてくださる方に希望や勇気を持ってもらえればと述べられていました。仕事をする中で生み出された内容が話の中心で、軽快でさわやかな語り口が、重苦しさが無い時間としてくれました。

これからの時代をどう生きるかという話の中で「運命を引き受けよう」「愛とは責任である」「起きた出来事は全て正しいとは思わない」の三つを挙げられました。家族の事では、長男の自閉症、伴侶の病気と入退院にふれられました。同時に家事、育児、そして仕事に追われた厳しい日々があったはずですが、持ち前の楽観主義と戦友である娘の強い協力のおかげで、日々過ごされたようです。そして、仕事への責任や愛があったこともわかります。時間をどのように使うかは、この追いつめ



◀ 講師の佐々木常夫さん  
(株)東し経営研究所 特別顧問

られた中で生み出されたものだと思います。

「運命を引き受けよう」では、家族のリスクやハンディも見定めることで、前へ進まれたようです。見定めることは、明らかにすることで、諦めないことにつながっていると思います。一方仕事では、自分の仕事への愛、とりわけ会社経営に関する重要なポストの仕事への情熱があったであろうことが伝わってきます。運命というか、天命に近い思いが、仕事を前進させる原動力となったのだと思います。タイムマネジメントがワークマネジメントにつながることで、氏のよき習慣で納得できます。

講師の書かれた『働く君に贈る 25 の言葉』の本の中に、“君は人生の主人公、何のものにもその座を譲ってはならない、” “生きることは、運命を引き受けることでもある、” と若い人達へのエールがあります。うれしく思いました。



▲ 満員の会場

＊ 講演「選択的夫婦別姓を考える」に参加しました！ ＊

研修会では「選択的夫婦別姓を考える」と題して立命館大学法学部教授の二宮周平さんの講義を受けました。ここでは資料の中の一部を紹介します。

○自己の氏名に対する思い

・氏名は自己の人格の象徴（自分自身）であり、妻、母、嫁としての役割ではなく、個人としての生き方を尊重し、対等な夫婦関係を築きたいという願いがある。

○差別をなくす視点

・夫婦同氏は日本の伝統文化ではなく、明治以降に作られたもの（家制度のもと）である。一方の性に不利に働くルールは中立的ではなく、やはり差別的なものと考えるべきである。他に差別的でないルールがあれば、それに変わる必要がある。

それが選択的夫婦別氏制度である。



○感想として

このように、選択的夫婦別氏制度は、選択制です。夫婦同氏・親子同氏にしたい人は同氏にできるのだから、何の不利益もないと思います。他方で自分の生来の氏を名乗り続けることに自己のアイデンティティを見いだす人たち、個人としての生き方を尊重し、対等な夫婦関係を築く思いを選択制に託す人たちもいらっしゃいます。選択的夫婦別氏制度に賛成か反対かと言われれば、すぐに答えは出せませんが、あくまで選択制であり、夫婦別姓を望まない人にそれを強制するものではありません。

男女共同参画リポーターとは……

男女共同参画リポーターは、地域に根ざした男女共同参画のまちづくりを進めるために設置されています。任期は一年。市内に在住か在勤されている20歳以上の人で、男女共同参画社会について興味を持ち意欲的に活動できる人なら、どなたでも歓迎です。

一年の活動内容は最初の会議で考えますが、これまで「いきいき講座」を開催したり、研修会へも参加してきました。

また、新聞の「いきいき通信」については毎年、発行していますので、取材にも行っていただいています。

毎年、4月から5月頃に募集していますので、何か活動してみたいという人も、男女共同参画はよくわからないという人も、ぜひご応募ください。募集については、広報「こなん」や市のホームページなどでお知らせします。



平成23年度 年間活動内容

6月30日 第1回会議…いきいき講座の概要

7月25日 第2回会議…期日、会場、講師の決定、アンケートの内容検討

8月23日 第3回会議…参加体制、当日の時間配分・役割分担

9月11日 いきいき講座〔1回目〕

10月22日 “G-NETしがフェスタ2011

10月23日 県条例10周年記念フォーラムへの参加

11月27日 いきいき講座〔2回目〕

※「いきいき通信」の作成

(2月 区配布)

女と男グッドパートナー

いきいき通信 Vol.7

■発行 平成24年2月

■編集 湖南市男女共同参画リポーター  
(妹背醇、川奈部洋子、西村眞喜子、  
廣井美子、望月實、森富裕子)  
湖南市 人権政策課

■連絡先 〒520-3288

湖南市中央一丁目一番地

TEL (71) 2654

FAXTEL (72) 2201

Eメール jinsei@city.konanshiga.jp

湖南市 人権政策課